資料２

第３次北はりま定住自立圏共生ビジョンにおける具体的な取組内容について

資料の見方

事業内容					
分野	生活機能の強化				
政策	医療	施策	医療体制の確保		
事業概要	圏域におけるがん治療の拠点病院として、引き続き機能強化に努めるとともに、緩和ケア体制の充実を図ります。また、脳卒中治療の拠点病院として脳卒中センターの運営を行うとともに、認知症に係る医療水準の向上に向けた地域連携体制の強化を進めます。				
事業効果	脳血管疾患やがん治療に対応できる総合的・安定的な救急医療体制等を構築し、適切な医療を提供することができます。また、専門医による診療及び相談体制の強化により、圏域内の認知症疾患に係る診療サービスの向上とともに、住民の理解促進を図ることができます。				
事業	**1 医療機能強化事業**			掲載ページ	50ページ

第３次共生ビジョンに記載されている事業内容です。

担当			
西脇市	西脇病院　病院総務課	多可町	健康課

事業担当課を記載しています。

事業計画・取組状況							
Ｒ３年度	取組実績	【西脇市】 ＭＲＩ(3.0テスラ)、高性能の血管造影装置、周産期関係機器等を活用し、安全・安心な医療サービスを提供した。 【多可町】 町立診療所の機能維持及び多可赤十字病院への運営助成を行った。					
	進捗状況	Ｂ：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	従来のＭＲＩ(3.0テスラ)、高性能の血管造影装置、周産期関係機器等の活用はもちろんのこと、医療機器の更新、町立診療所の機能維持及び多可赤十字病院への運営助成により、安全・安心な医療サービスを提供することができた。					
	事業費（千円）	西脇市	116,217	多可町	40,000	合計	156,217
		内訳	【西脇市】 Ｘ線透視診断装置、生体情報監視装置、超音波診断装置用プローブほか 【多可町】 町立診療所の機能維持及び多可赤十字病院への運営助成				
Ｒ４年度	取組計画	【西脇市】 ＭＲＩ(3.0テスラ)、高性能の血管造影装置、周産期関係機器等を活用し、安全・安心な医療サービスを提供する。 【多可町】 町立診療所の機能維持及び多可赤十字病院への運営助成を行う。					
	事業費（千円）	西脇市	250,000	多可町	40,000	合計	290,000
		内訳	【西脇市】 核医学診断装置、レントゲン撮影装置の購入ほか 【多可町】 町立診療所の機能維持及び多可赤十字病院への運営助成				

この事業の令和３年度の取組状況、事業費（決算額）をまとめています。
「進捗状況」の評価は次の４段階です。

Ａ：想定どおりの成果が得られた
Ｂ：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた
Ｃ：不十分であるが一部において成果が得られた
Ｄ：成果が得られていない

この事業の令和４年度の取組計画、事業費（予算額）をまとめています。

成果指標（KPI）①									
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
西脇病院における北はりま消防組合からの要請に対する受入率	目標			90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	%
	実績	88.6	91.3	87.6					
	達成率			97%					
	評価			B					
指標結果の分析・評価	R3年度	新型コロナウイルス感染症対策をした上で、概ね達成できた。							

第３次共生ビジョンで定めている成果指標（KPI）を記載しています。KPIの評価は次の４段階です。
Ａ：目標達成
Ｂ：90%以上達成
Ｃ：70%以上達成
Ｄ：70%未満

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	医療	施策	医療体制の確保
事業概要	圏域におけるがん治療の拠点病院として、引き続き機能強化に努めるとともに、緩和ケア体制の充実を図ります。また、脳卒中治療の拠点病院として脳卒中センターの運営を行うとともに、認知症に係る医療水準の向上に向けた地域連携体制の強化を進めます。		
事業効果	脳血管疾患やがん治療に対応できる総合的・安定的な救急医療体制等を構築し、適切な医療を提供することができます。また、専門医による診療及び相談体制の強化により、圏域内の認知症疾患に係る診療サービスの向上とともに、住民の理解促進を図ることができます。		
事業	**1　医療機能強化事業**	掲載ページ	50ページ

担当			
西脇市	西脇病院　病院総務課	多可町	健康課

事業計画・取組状況							
R３年度	取組実績	【西脇市】 ＭＲＩ(3.0テスラ)、高性能の血管造影装置、周産期関係機器等を活用し、安全・安心な医療サービスを提供した。 【多可町】 町立診療所の機能維持及び多可赤十字病院への運営助成を行った。					
	進捗状況	Ｂ：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	従来のＭＲＩ(3.0テスラ)、高性能の血管造影装置、周産期関係機器等の活用はもちろんのこと、医療機器の更新、町立診療所の機能維持及び多可赤十字病院への運営助成により、安全・安心な医療サービスを提供することができた。					
	事業費（千円）	西脇市	116,217	多可町	40,000	合計	156,217
		内訳	【西脇市】 Ｘ線透視診断装置、生体情報監視装置、超音波診断装置用プローブほか 【多可町】 町立診療所の機能維持及び多可赤十字病院への運営助成				
R４年度	取組計画	【西脇市】 ＭＲＩ(3.0テスラ)、高性能の血管造影装置、周産期関係機器等を活用し、安全・安心な医療サービスを提供する。 【多可町】 町立診療所の機能維持及び多可赤十字病院への運営助成を行う。					
	事業費（千円）	西脇市	250,000	多可町	40,000	合計	290,000
		内訳	【西脇市】 核医学診断装置、レントゲン撮影装置ほか 【多可町】 町立診療所の機能維持及び多可赤十字病院への運営助成				

成果指標（KPI）①									
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
西脇病院における北はりま消防組合からの要請に対する受入率	目標			90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	%
	実績	88.6	91.3	87.6					
	達成率			97%					
	評価			B					
指標結果の分析・評価	R3年度	新型コロナウイルス感染症対策をした上で、概ね達成できた。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	医療	施策	医療体制の確保
事業概要	圏域の拠点病院である西脇病院の医療従事者を確保するため、勤務環境の改善を図るとともに、看護学校との連携や医師研修制度の整備・充実、情報発信の強化などを進めます。また、拠点病院の機能を補完する多可赤十字病院の医師の処遇を改善し、新たに赴任する医師に対する支援を行うために助成金を交付します。		
事業効果	医療従事者の充実と業務負担の軽減を図ることで、安全・安心な医療サービスが提供でき、病院運営の安定につなげることができます。		
事業	**2　医療従事者確保対策事業**	掲載ページ	51ページ

担当			
西脇市	西脇病院　病院総務課	多可町	健康課

事業計画・取組状況

R３年度	取組実績	【西脇市】 保育施設の運用や医師事務作業補助者の配置などにより働きやすい環境を確保した。奨学金貸与制度や就職説明会への参加などにより、医療従事者の確保を図った。（園児数14名、修学資金貸与10名、うち新規採用４名（R3.4）、補助者：会計年度任用職員９名） 【多可町】 特定診療科を支援し、適切な医療体制を確保するため、医師派遣の費用助成を行った。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中で、医療従事者の確保を図った。					
	事業費（千円）	西脇市	51,954	多可町	10,000	合計	61,954
		内訳	【西脇市】 院内保育所運営委託23,312千円、修学金貸与（技術者養成費）6,000千円、医師事務作業補助21,982千円、顧問弁護士660千円 【多可町】 地域医療確保対策補助10,000千円				
R４年度	取組計画	【西脇市】 保育施設の運用や医師事務作業補助者の配置などにより働きやすい環境を確保する。奨学金貸与制度や就職説明会への参加などにより、医療従事者の確保を図る。（園児数９名、修学資金貸与10名、うち新規採用７名（R4.4）、補助者：会計年度任用職員９名） 【多可町】 特定診療科を支援し、適切な医療体制を確保するため、医師派遣の費用助成を行う。					
	事業費（千円）	西脇市	52,394	多可町	10,000	合計	62,394
		内訳	【西脇市】 院内保育所運営委託23,734千円、修学金貸与（技術者養成費）6,000千円、医師事務作業補助22,000千円、顧問弁護士660千円 【多可町】 地域医療確保対策補助10,000千円				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
西脇病院医師数	目標			55	55	55	55	55	人
	実績	51	51	51					
	達成率			93%					
	評価			B					
指標結果の分析・評価	R3年度	新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中で、医師数を維持した。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	医療	施策	医療体制の確保
事業概要	圏域の医療を支え、身近な医療の提供体制を確保するため、多可町内で新たに診療所を開設する開業医に対し、診療所の開設に必要な費用を一部助成します。		
事業効果	圏域の拠点病院から距離的・時間的に離れている多可町内において、身近な医療が提供でき安全・安心な受診環境を確保することができます。		
事業	**3　地域医療施設整備事業**	掲載ページ	52ページ

担当			
西脇市	西脇病院　病院総務課	多可町	健康課

事業計画・取組状況							
R３年度	取組実績	【多可町】 診療所を開設する開業医の実績なし					
	進捗状況	D：成果が得られていない					
	取組の評価	新たに開業する診療所はなかった。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳	—				
R４年度	取組計画	【多可町】 診療所を開設する開業医の支援を継続していく。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳	—				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
多可町内診療所数	目標			9	9	10	10	10	箇所
	実績	9	9	9					
	達成率			100%					
	評価			A					
指標結果の分析・評価	R3年度	新たに開業する診療所はなかった。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	医療	施策	医療体制の確保
事業概要	圏域の拠点病院である西脇病院の施設内において、休日急患診療事業を運営主体である西脇多可行政事務組合が西脇市多可郡医療協会を指定管理者に指定し、事業を実施します。		
事業効果	医療機能の分担により、休日の救急患者に対し、切れ目のない適切な医療を提供することができます。		
事業	**4　休日急患センター運営事業**	掲載ページ	53ページ

担当			
西脇市	西脇病院　病院総務課	多可町	健康課

事業計画・取組状況

R３年度	取組実績	【西脇市・多可町】 西脇市多可郡医師会の協力のもと、西脇市立西脇病院内で軽症の救急患者を診察する休日急患センターを運営するため、西脇多可行政事務組合に負担金を拠出した。						
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた						
	取組の評価	西脇市多可郡医師会の協力のもと、休日急患患者に対して切れ目のない適切な医療を提供することができた。						
	事業費（千円）	西脇市	6,595	多可町	638	合計	7,233	
		内訳	【西脇市】 負担金2,005千円 【多可町】 負担金638千円 【西脇病院】 4,590千円					
R４年度	取組計画	【西脇市・多可町】 西脇市多可郡医師会の協力のもと、西脇市立西脇病院内で軽症の救急患者を診察する休日急患センターを運営するため、西脇多可行政事務組合に負担金を拠出する。						
	事業費（千円）	西脇市	6,564	多可町	734	合計	7,298	
		内訳	【西脇市】 負担金1,974千円 【多可町】 負担金734千円 【西脇病院】 4,590千円					

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
休日急患センター受診患者数	目標			500	500	500	500	500	人
	実績	364	115	158					
	達成率			32%					
	評価			D					
指標結果の分析・評価	R3年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、発熱患者等の受診患者数が減少したものと考えられる。							

事業内容					
分野	生活機能の強化				
政策	医療		施策	医療連携の強化	
事業概要	西脇病院が圏域の医療機関に施設などの病院機能を開放し、入院患者への共同指導や医療機器の共同利用を推進するとともに、医療に関する研修を実施します。				
事業効果	患者の相互紹介等により、西脇病院とかかりつけ医との役割分担や医療連携が一層推進され、効果的で切れ目のない医療サービスを提供することができ、圏域の医療提供体制の強化につなげることができます。				
事業	**5　病診連携推進事業**			掲載ページ	55ページ

担当			
西脇市	西脇病院　病院総務課	多可町	健康課

事業計画・取組状況							
R３年度	取組実績	【西脇市・多可町】 病診連携のための啓発活動を行った。 【西脇市】 地域医療支援病院として、西脇病院・医師会が連携し、入院患者の共同指導、病院医療機器の共同利用を行うとともに、医療従事者への研修（医療検討会等）を実施した。また、病診連携のための啓発活動を行い、医療機関の役割に応じた紹介・逆紹介などの流れの浸透と定着を促進し、病診連携の推進・強化を図った。（紹介率66.4%、かつ、逆紹介率72.2%）					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、研修会の開催を十分に行うことができなかったが、内科ホットライン（医師会専用回線電話）の活用などにより病診連携を推進することができた。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳	—				
R４年度	取組計画	【西脇市・多可町】 病診連携のための啓発活動を行う。 【西脇市】 地域医療支援病院として、西脇病院・医師会が連携し、入院患者の共同指導、病院医療機器の共同利用を行うとともに、医療従事者への研修（医療検討会等）を実施する。また、病診連携のための啓発活動を行い、医療機関の役割に応じた紹介・逆紹介などの流れの浸透と定着を促進し、病診連携の推進・強化を図る。（紹介率65.0%以上、かつ、逆紹介率65.0%以上）					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳	—				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
西脇病院における患者紹介率	目標			65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	%
	実績	65.3	69.5	66.4					
	達成率			102%					
	評価			A					
指標結果の分析・評価	R3年度	医療機関の役割に応じた紹介などの流れが浸透していると考えている。							

成果指標（KPI）②

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
西脇病院における患者逆紹介率	目標			65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	%
	実績	70.5	74.4	72.2					
	達成率			111%					
	評価			A					
指標結果の分析・評価	R3年度	医療機関の役割に応じた逆紹介などの流れが浸透していると考えている。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	医療	施策	医療連携の強化
事業概要	医療資源を効果的に活用し、圏域医療を持続的に確保するため、西脇病院と多可赤十字病院の間において、患者紹介など病院間の役割分担を図り、電子カルテによる医療情報の共有化や医師の相互派遣等を実施し、病院間の連携を強化します。		
事業効果	より専門的で効率的な医療提供が可能になるとともに、病院に不足する診療機能の相互補完を図ることができ、圏域の医療提供体制の強化につながります。		
事業	**6　病病連携推進事業**	掲載ページ	56ページ

担当			
西脇市	西脇病院　病院総務課	多可町	健康課

事業計画・取組状況

R３年度	取組実績	【西脇市・多可町】 西脇病院から多可赤十字病院に対して、皮膚科医師（週１回）、整形外科医師（週１回）、内科医師（週３回）及び乳腺外科（随時）の派遣を行った。 また、連携パス協議を実施し、地域連携クリニカルパス（脳卒中、大腿骨）を推進するとともに、地域医療連携システムの運用を進めた。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと講じながら、応援医師の派遣を行うことができた。					
	事業費（千円）	西脇市	1,251	多可町	0	合計	1,251
		内訳	【西脇市】 絆ネット運用費（専用回線利用料・プロバイダー料など）1,251千円				
R４年度	取組計画	【西脇市・多可町】 西脇病院から多可赤十字病院に対して、皮膚科医師（週１回）、整形外科医師（週１回）、内科医師（週３回）及び乳腺外科（随時）の派遣を行う。 また、連携パス協議を実施し、地域連携クリニカルパス（脳卒中、大腿骨）を推進するとともに、地域医療連携システムの運用を進める。					
	事業費（千円）	西脇市	1,251	多可町	0	合計	1,251
		内訳	【西脇市】 絆ネット運用費（専用回線利用料・プロバイダー料など）1,251千円				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
北はりま絆ネット同意書数	目標			870	890	910	930	950	件
	実績	850	958	1,129					
	達成率			130%					
	評価			A					
指標結果の分析・評価	R3年度	設定目標を１年ごとに20件増としていたが、令和３年度は171件と大幅に増えた。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	医療	施策	医療連携の強化
事業概要	へき地医療拠点病院に指定されている西脇病院から、へき地診療所である多可町立診療所に代診医を派遣するなど必要な診療支援を行います。		
事業効果	多可町立診療所が休診することなく、患者の診療が可能となることで、安全・安心な受診環境の確保と圏域医療の安定につなげることができます。		
事業	**7　へき地医療拠点病院事業**	掲載ページ	57ページ

担当			
西脇市	西脇病院　病院総務課	多可町	健康課

事業計画・取組状況

R３年度	取組実績	【西脇市】 西脇病院から多可町立診療所に対し、申請に基づいて臨時に代診医（内科）を派遣した。（年間代診７回）					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	安全・安心な受診環境の確保と圏域医療の安定につなげることができた。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	259	合計	259
		内訳	【多可町】 国保八千代診療所　@37千円×７回				
R４年度	取組計画	【西脇市】 西脇病院から多可町立診療所に対し、申請に基づいて臨時に代診医（内科）を派遣する。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	925	合計	925
		内訳	【多可町】 国保八千代診療所@37千円×10回 松井庄診療所　　@37千円×5回 杉原谷診療所　　@37千円×10回				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
多可町立診療所診療日数	目標			239	239	239	239	239	日
	実績	239	242	242					
	達成率			101%					
	評価			A					
指標結果の分析・評価	R3年度	代診医の派遣によって、診療所を休診することなく診療を続けることができた。							

成果指標（KPI）②

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
多可町立診療所への医師派遣回数	目標			20	20	20	20	20	回
	実績	20	5	7					
	達成率			35%					
	評価			D					
指標結果の分析・評価	R3年度	代診の要請件数が少なかったため実績件数は目標値を下回ったが、代診医の派遣によって、診療所を休診することなく診療を続けることができた。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	医療	施策	地域医療を守る体制の確立
事業概要	医療機関への適正受診に向けた啓発や勉強会の開催など、西脇小児医療を守る会や地域医療を支える市民の会が行う地域医療を守り支える住民意識の醸成に資する活動を支援するとともに、受診案内・援助などを行う病院ボランティアの受入れなどを進めます。また、病院フェスタの開催など地域に開かれた病院づくりを進めます。		
事業効果	地域医療を守り、支える意識が普及し、圏域住民の適正な受診行動を促進することができ、医療従事者の業務に対する理解促進や負担軽減につなげることができます。		
事業	**8　地域医療を守る住民活動の支援**	掲載ページ	59ページ

担当			
西脇市	西脇病院　病院総務課	多可町	健康課

事業計画・取組状況							
R３年度	取組実績	【西脇市】 教育委員会や児童福祉部門と連携・協力して、西脇小児医療を守る会の活動を支援するとともに、病院ボランティアの受入れを一部行った。 【多可町】 地域医療確保対策協議会を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかった。					
	進捗状況	C：不十分であるが一部において成果が得られた					
	取組の評価	新型コロナウイルス感染症対策のため、病院フェスタ、市民フォーラム及び地域医療確保対策協議会は開催できなかったが、病院ボランティアの受入れを一部行った。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳	—				
R４年度	取組計画	【西脇市】 教育委員会や児童福祉部門と連携・協力して、西脇小児医療を守る会の活動を支援するとともに、病院ボランティアの積極的な受入れを行う。 【多可町】 地域医療確保対策協議会を開催を通じて、あらためて地域医療を考えてもらう機会を作る。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳	—				

成果指標（KPI）①									
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
病院フェスタ・市民フォーラム参加者数	目標			2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	人
	実績	2,600	—	—					
	達成率			—					
	評価			—					
指標結果の分析・評価	R3年度	新型コロナウイルス感染症対策のため、病院フェスタ及び市民フォーラムを中止した。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	福祉	施策	認定審査会業務の連携
事業概要	介護が必要な高齢者等が必要な介護サービスを受けることができるよう要介護等の認定を行う審査会業務を西脇多可行政事務組合で行います。		
事業効果	審査会業務の運営の効率化と審査判定結果の迅速化を図り、公正・適正な事務を確保することができます。		
事業	**9　介護認定審査会事業**	掲載ページ	61ページ

担当	
西脇市・多可町	西脇多可行政事務組合　認定審査課

事業計画・取組状況							
R３年度	取組実績	認定審査会委員を新たに委嘱（任期2年）し、審査会を開催した。（年間125回）					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	要介護認定、要支援認定を受けている対象者の有効期間について、新型コロナウイルス感染症に係る要介護認定の臨時的な取扱いにより、従来の認定期間に新たに12か月までの範囲で認定期間を延長できる措置が令和2年度に引き続き取られた。前年よりも開催回数は減少したものの、公正な審査を引き続き行った。					
	事業費（千円）	西脇市	—	多可町	—	合計	41,491
		内訳	人件費30,486千円、介護認定審査事務1,932千円、介護認定審査会運営246千円、認定審査会支援システム改修・更新8,827千円				
R４年度	取組計画	西脇市及び多可町による一次判定に基づき、審査会を開催し、二次判定を行う。					
	事業費（千円）	西脇市	—	多可町	—	合計	39,259
		内訳	人件費36,163千円、介護認定審査事務2,617千円、介護認定審査会運営479千円				

成果指標（KPI）①									
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
介護認定審査会開催回数	目標			191	191	191	191	191	回
	実績	191	130	125					
	達成率			65%					
	評価			D					
指標結果の分析・評価	R3年度	要介護認定及び要支援認定を受けている対象者の有効期間について、新型コロナウイルス感染症に係る要介護認定の臨時的な取扱いにより、従来の認定期間に新たに12か月までの範囲で認定期間を延長できる措置が令和2年度に引き続き取られた。そのため、基準年よりも開催回数は減少した。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	福祉	施策	認定審査会業務の連携
事業概要	障害者が障害特性に応じて必要な障害福祉サービスを受けることができるとともに、自立した生活ができるよう障害支援区分の認定を行う審査会業務を西脇多可行政事務組合で行います。		
事業効果	審査会業務の運営の効率化と審査判定結果の迅速化を図り、公正・適正な事務を確保することができます。		
事業	**10 障害認定審査会事業**	掲載ページ	62ページ

担当	
西脇市・多可町	西脇多可行政事務組合　認定審査課

事業計画・取組状況							
R３年度	取組実績	認定審査会委員を新たに委嘱（任期2年）し、審査会を開催した。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	西脇市及び多可町による一次判定に基づき、毎月1回審査会を開催し、二次判定を行った。					
	事業費（千円）	西脇市	—	多可町	—	合計	5,275
		内訳	人件費4,847千円、障害認定審査事務400千円、障害認定審査会運営28千円				
R４年度	取組計画	西脇市及び多可町による一次判定に基づき、審査会を開催し、二次判定を行う。					
	事業費（千円）	西脇市	—	多可町	—	合計	5,697
		内訳	人件費4,632千円、障害認定審査事務420千円、障害認定審査会運営40千円、認定審査会支援システム改修605千円				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
障害認定審査会開催回数	目標			12	12	12	12	12	回
	実績	12	12	12					
	達成率			100%					
	評価			A					
指標結果の分析・評価	R3年度	西脇市及び多可町による一次判定に基づき、毎月1回審査会を開催し、二次判定を行った。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	福祉	施策	地域福祉体制の強化
事業概要	行政、関係機関、関係団体等によるネットワーク「あんしんはーとねっと事業」を構築し、高齢者や障害者、子どもなどの見守りを行うとともに、認知症等により行方不明となった高齢者の捜索への協力を行います。		
事業効果	高齢者等が安心して地域で生活できる社会の実現につながることが期待されます。		
事業	**11　高齢者等の見守り事業**	掲載ページ	64ページ

担当			
西脇市	長寿福祉課	多可町	ふくし相談支援課

事業計画・取組状況

R３年度	取組実績	【西脇市・多可町】 行方不明発生時の情報伝達手段として、西脇・多可防犯ネットに代わり、ひょうご防災ネットの活用を令和３年11月に開始した。 【西脇市】 あんしんはーとねっと事業強化月間（11月）に、のぼり旗、横断幕の掲示による啓発活動を行った。ホームページ及び事業所訪問で事業協力者の募集を行った。 【多可町】 新型コロナウイルス感染症の影響で講演会等は実施できなかった。総窓口化事業として、対象者を子ども及び障がい者へ拡大し、その啓発のため、ポスターやシールを新規作成しPRを行った。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	行方不明発生時の情報提供手段として、これまでの防災行政無線に加え、ひょうご防災ネットでメール配信することにより、より幅広く情報提供ができるようになった。					
	事業費（千円）	西脇市	91	多可町	146	合計	237
		内訳	【西脇市】 郵便代33千円、反射シール印刷費58千円 【多可町】 郵便代17千円、啓発ポスター及びシール代129千円				
R４年度	取組計画	【西脇市】 事業協力者の募集及び高齢者等の見守りの啓発を行う。 【多可町】 対象者の拡大を図るとともに、事業協力者の募集を行う。また、見守り声かけ訓練を実施していく。					
	事業費（千円）	西脇市	84	多可町	150	合計	234
		内訳	【西脇市】 研修会講師報償費50千円、郵便代34千円 【多可町】 研修会講師報償費40千円、郵便代62千円、パンフレット等購入費48千円				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
あんしんはーとねっと事業協力事業者数	目標			215	219	223	227	231	事業者
	実績	205	232	233					
	達成率			108%					
	評価			A					
指標結果の分析・評価	R3年度	目標値は達成している。引き続き、新たな事業協力者の募集を行う。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	福祉	施策	地域福祉体制の強化
事業概要	子育て支援情報の相互発信や事業の相互利用・共同実施、子育て支援団体等のネットワーク化などに取り組みます。また、圏域内移動者で支援が必要な家庭に対し、相談員等による指導・見守りの実施や情報共有を図ります。		
事業効果	子育て支援施策が充実することで、圏域全体の子育て環境の向上につなげることができます。		
事業	**12 子育て支援事業**	掲載ページ	65ページ

担当			
西脇市	こども福祉課／企画調整課	多可町	こども未来課

事業計画・取組状況

R３年度	取組実績	【西脇市・多可町】 0歳から18歳までの子とその保護者を対象に、こどもプラザフェスタを開催し、様々なブースを体験しながら交流を図ることができた。また、圏域内移動者で支援が必要な家庭に対し、相談員等によるケース移管を行うとともに、情報共有を図った。 【西脇市】 児童館事業として「とび出せ児童館」を実施した。子育て新聞「ことのは」を３市１町の支援者研修会で配布し、参加につなげた。 【多可町】 Reuse会（ベビー・こども服、子育て用品の譲渡会）の開催に当たっては、西脇市内でのチラシ配布や、SNS等での情報発信により、子育て中の家庭の参加につなげた。					
	進捗状況	C：不十分であるが一部において成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市・多可町】 こどもプラザフェスタのみの開催となったが、交流事業については参加者から好評を得た。また、圏域内移動者で支援が必要な家庭に対し、相談員等によるケース移管を行うとともに、情報共有を図ることで、支援方針を立てることができた。 【西脇市】 児童館事業「とび出せ児童館」では、多可町那珂ふれあい館を利用することで通常と異なる体験ができ、満足度が高い事業となった。 【多可町】 Reuse会には、多くの子育て中の家庭が参加し、育児用品の提供を通じた交流の機会になった。					
	事業費（千円）	西脇市	453	多可町	0	合計	453
		内訳	児童館事業（リトミック等講師報償費、和紙の掛け時計作り、勾玉ストラップ作り材料費、工作教室、おりがみ教室、ソーイング教室消耗品費等）				
R４年度	取組計画	【西脇市・多可町】 0歳から18歳までの子とその保護者を対象にイベント（こどもプラザ夏まつり、こどもプラザフェスタ）を開催する。また、圏域内移動者で支援が必要な家庭に対し、相談員等による指導・見守りの実施や情報共有を図る。 【西脇市】 児童館事業として「とび出せ児童館」、夏まつり、おやこ交流教室での屋外交流などを開催する。支援者研修会開催時に、子育て新聞「ことのは」を配布し、西脇市で開催するイベントや事業を周知する。また、こどもプラザフェスタに多可町の親子の参加を要請する。 【多可町】 Reuse会を開催に当たっては、西脇市内でのチラシ配布や、SNS等での情報発信により、子育て中の家庭の参加につなげる。また、こどもプラザ夏まつり、こどもプラザフェスタ等のイベントに「出張ReUse」を出店し、育児用品の提供を通じた交流を図る。					
	事業費（千円）	西脇市	491	多可町	0	合計	491
		内訳	児童館事業（クッキング等講師報償費、クッキング、和紙の掛け時計、勾玉キーホルダー作り材料費、工作教室、おりがみ教室、ソーイング教室消耗品費等）				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
児童館利用者数	目標			72,800	72,800	74,000	74,000	74,200	人
	実績	86,956	21,596	33,720					
	達成率			46%					
	評価			D					
指標結果の分析・評価	R3年度	西脇市・多可町ともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、施設を休館したり、利用制限を行ったりしたため、利用者数は伸びなかった。							

成果指標（KPI）②

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
市町間交流事業実施回数	目標			4	6	6	8	8	回
	実績	4	0	1					
	達成率			25%					
	評価			D					
指標結果の分析・評価	R3年度	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、予定していたイベントが中止になったことによる。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	教育・文化	施策	学校教育環境の充実
事業概要	新たな技術、グローバル教育などの新たな教育課題への対応や、少子化などの教育を取り巻く環境の変化に対応するため、教職員の人材育成・交流や部活動運営の共同実施、業務改善に向けた取組などを連絡会議で調査研究するとともに、必要な事業を共同で実施します。		
事業効果	教職員の資質向上・交流や課外活動等の運営改善などを通じて、学校教育の質の向上と、課外活動等の多様性・質の確保、効率性の向上が期待できます。		
事業	**13 学校教育環境向上事業**	掲載ページ	67ページ

担当			
西脇市	学校教育課	多可町	学校教育課

事業計画・取組状況

R３年度	取組実績	【西脇市・多可町】 新型コロナウイルス感染症の影響で、大人数での研修を行うことができなかった。					
	進捗状況	—					
	取組の評価	新型コロナウイルス感染症の影響で、大人数での研修を行うことができなかった。					
	事業費（千円）	西脇市	90	多可町	90	合計	180
		内訳	【西脇市】 教職員研修会90千円 【多可町】 教職員研修会90千円				
R４年度	取組計画	【西脇市・多可町】 新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、大人数での研修を行うことができない状況であるため、集合・オンラインのハイブリッド型の合同研修の開催を検討する。					
	事業費（千円）	西脇市	90	多可町	90	合計	180
		内訳	【西脇市】 教職員研修会90千円 【多可町】 教職員研修会90千円				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
連絡会議開催回数	目標			1	1	1	1	1	回
	実績	1	—	—					
	達成率			—					
	評価			—					
指標結果の分析・評価	R3年度	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、集合研修を行うことができないと判断したため、連絡会議を開催しなかった。							

成果指標（KPI）②

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
共同研修参加者数	目標			50	55	60	65	70	人
	実績	50	—	—					
	達成率			—					
	評価			—					
指標結果の分析・評価	R3年度	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、集合研修を行うことができなかった。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	教育・文化	施策	文化・スポーツ活動の振興
事業概要	スポーツイベントの情報を圏域全体に発信するとともに、各市町で実施する既存事業においては圏域住民の積極的な参加を推進するため、連絡会議を設置し、事業の振興と交流の促進を図ります。また、西脇多可新人高校駅伝競走大会など圏域内において共同で実施する事業の支援や連携の調整・検討を行います。		
事業効果	スポーツ活動の機会が拡充することで、圏域全体のスポーツの振興や質的向上につながるとともに、住民の相互交流を促進することができます。		
事業	**14 スポーツイベント交流事業**	掲載ページ	69ページ

担当			
西脇市	生涯学習課	多可町	生涯学習課

事業計画・取組状況							
R３年度	取組実績	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、昨年度に引き続き西脇多可高校新人駅伝競走大会を中止した。 なお、加西市、加東市、西脇市、多可町で形成する北播磨広域定住自立圏の事業においては、担当者会を行い、各市町スポーツ推進委員や企業の協力を得て、ウォーキング事業、ジュニアサッカークリニック、グラウンドゴルフ大会を実施した。					
	進捗状況	—					
	取組の評価	西脇多可高校新人駅伝競走大会については、新型コロナウイルス感染症の影響で開催することができなかった。なお、北播磨広域定住自立圏の事業では、多数の参加者を得て交流を深めることができた。ウォーキング事業については、西脇市、多可町のスポーツ推進委員も各５名が参加し、北条鉄道の活用や休憩場所での交流事業等、今後の事業の参考とすることができた。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳	—				
R４年度	取組計画	西脇多可高校新人駅伝競走大会については、例年よりも早期に実行委員会を開催し、準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症の終息が見込めないことから、中止を決定した。					
	事業費（千円）	西脇市	2,000	多可町	750	合計	2,750
		内訳	西脇多可高校新人駅伝競走大会実行委員会への補助金				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
西脇多可新人高校駅伝競走大会参加チーム数	目標			140	140	145	145	150	チーム
	実績	135	—	—					
	達成率			—					
	評価			—					
指標結果の分析・評価	R3年度	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、昨年度に引き続き中止した。							

成果指標（KPI）②

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
西脇多可新人高校駅伝競走大会関係者数（観客含む。）	目標			9,500	9,500	10,000	10,000	11,000	人
	実績	9,000	—	—					
	達成率			—					
	評価			—					
指標結果の分析・評価	R3年度	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、昨年度に引き続き中止した。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	教育・文化	施策	文化・スポーツ活動の振興
事業概要	文化事業の情報を圏域全体に発信するとともに、文化団体の相互交流やイベント等の共同実施などにより、圏域住民が中心となった文化活動を促進します。また、新たに活動を始める団体の設立支援やセミナーの開催など、文化活動の担い手を育成します。		
事業効果	文化活動を通じた住民交流が促進されることで、圏域全体の文化活動の振興や質的向上につながります。		
事業	**15 文化交流事業**	掲載ページ	70ページ

担当			
西脇市	生涯学習課	多可町	生涯学習課

事業計画・取組状況							
R３年度	取組実績	【西脇市・多可町】 両市町の事業について、広報を幅広く行うことにより、集客力の向上に努めた。 【西脇市】 令和４年１月29日に劇団四季ファミリーミュージカルを開催した。多可町による周知の協力もあり、チケットが完売した。 【多可町】 文化会館自主公演事業のひとつとして、大塚雅史氏の指導、脚本、演出により、演劇セミナーを実施した。会場が新型コロナウイルスワクチン接種対応のため使用不可となったことで大幅な延期となり、短期間での練習となった。西脇市からは９名が参加した。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	両市町が実施する事業について、ポスター掲示やチラシの配布の協力体制をとることにより、事業内容の把握やチケット販売の推進につながった。					
	事業費（千円）	西脇市	3,671	多可町	266	合計	3,937
		内訳	【西脇市】 劇団四季ファミリーミュージカル　3,671千円 【多可町】 演劇セミナー事業費（自主公演事業助成金）266千円				
R４年度	取組計画	【西脇市・多可町】 両市町に関連する事業について連携を密にし、広報を幅広く行うことにより、集客の増加につなげる。 【西脇市】 今年度も、近隣市町から集客が見込まれる劇団四季ファミリーミュージカルの開催を予定している。 【多可町】 大塚雅史氏の指導により、演劇セミナーを実施する。発表公演は、令和４年４月17日開催					
	事業費（千円）	西脇市	3,755	多可町	3,300	合計	7,055
		内訳	【西脇市】 劇団四季ファミリーミュージカル　3,755千円 【多可町】 演劇セミナー・発表公演　3,300千円				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
市民ホール等利用者数	目標			77,957	79,505	81,054	82,602	84,150	人
	実績	72,591	34,224	70,952					
	達成率			91%					
	評価			B					
指標結果の分析・評価	R3年度	市民交流施設については、５月からの実績であったため、全体として目標人数に対し、90%程度の実績となった。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	教育・文化	施策	文化財の保護及び利活用
事業概要	西脇市郷土資料館及び那珂ふれあい館が収蔵する文化財や歴史的資料などを活用し、共通のテーマによる企画展を開催します。また、文化財等の調査や保存活用の方法について調査研究する研究会を開催し、情報共有や文化財等の調査・活用に向けた連携を進めます。		
事業効果	自治体の枠組みを超えた連携により、文化財収蔵施設の業務の効率化を図ることができるとともに、文化財情報の共有・公開や企画展を通じた圏域文化財の発信により、文化財に対する意識の向上や郷土への愛着の醸成につながることが期待されます。		
事業	**16 文化財保存活用推進事業**	掲載ページ	72ページ

担当			
西脇市	生涯学習課	多可町	教育総務課

事業計画・取組状況							
R３年度	取組実績	文化財等の調査や保存活用の方法について調査研究する研究会を開催した。 概ね３年ごとに開催している巡回共同企画展についての打合せを行い、令和４年度に開催予定であったものを１年延期し、令和5年度に開催することとした。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	文化財等の調査や保存活用の方法について調査研究する研究会を開催することにより、情報共有や文化財等の調査・活用に向けた連携が得られた。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳	—				
R４年度	取組計画	文化財等の調査や保存活用の方法について調査研究する研究会を開催する。 概ね３年ごとに開催している巡回共同企画展の令和５年度開催に向けて、打合せ会議を開催する。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町		合計	0
		内訳					

成果指標（KPI）①									
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
共同企画展来館者数	目標			—	1,500			1,600	人
	実績	1,319	510	—					
	達成率			—					
	評価			—					
指標結果の分析・評価	R3年度	令和３年度は今後の開催に向けた打合せのみ実施した。（次回企画展は令和５年度開催予定）							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	産業振興	施策	農業の振興
事業概要	圏域で栽培されている日本のへそゴマをはじめ、各市町の特産品を地域ブランドとして普及・浸透を図るとともに、地元農産物を活用した加工品の開発に取り組みます。また、イベントを通じたＰＲ活動などによる情報発信を行います。		
事業効果	地元農産物の生産と消費の拡大と知名度の向上を図ることができ、農商工連携による産業の創出と圏域経済の活性化が期待できます。		
事業	**17　地域ブランド普及開発推進事業**	掲載ページ	74ページ

担当			
西脇市	農林振興課	多可町	商工観光課

事業計画・取組状況

Ｒ３年度	取組実績	【西脇市・多可町】 地元農産物を活用した特産品の開発及びＰＲを実施した。 【西脇市】 黒田庄畜産共進会、兵庫県畜産共進会の実施を支援した。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、昨年度に引き続き農業祭は中止した。 【多可町】 地域資源に対する消費の喚起・拡大を図り、まちの賑わいが創出された。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、昨年度に引き続き多可町ふれあいまつりは中止した。					
	進捗状況	Ａ：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた事業の一部は実施できなかったが、地域に密着した支援を適切に行うことができた。					
	事業費（千円）	西脇市	1,200	多可町	28,771	合計	29,971
		内訳	【西脇市】 黒田庄和牛ブランド化支援補助金100千円、農と食の魅力づくり(特農産品開発)1,100千円 【多可町】 地域ブランド推進事業28,771千円				
Ｒ４年度	取組計画	【西脇市・多可町】 地元農産物を活用した特産品の開発及びＰＲを実施する。 【西脇市】 農業祭、黒田庄畜産共進会、兵庫県畜産共進会の実施を支援する。 【多可町】 地域資源に対する消費の喚起・拡大を図り、まちの賑わいの創出を目指す。多可町ふれあいまつりの実施を支援する。					
	事業費（千円）	西脇市	1,400	多可町	43,360	合計	44,760
		内訳	【西脇市】 農業祭補助金500千円、黒田庄和牛ブランド化支援補助金100千円、農と食の魅力づくり（特農産品開発）800千円 【多可町】 地域ブランド推進事業37,560千円、ふれあいまつり補助金5,800千円				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
北はりま旬菜館加工品売上高	目標			64,000	65,000	66,000	67,000	68,000	千円
	実績	62,000	59,516	73,816					
	達成率			115%					
	評価			A					
指標結果の分析・評価	R3年度	コロナ禍ではあったが、巣ごもり需要等の拡大により、一時的なものとは見込まれるが、想定を上回る成果が得られた。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	産業振興	施策	農業の振興
事業概要	圏域で生産された農産物と地元農産物を利用した加工食品などを受け入れ、一般消費者に販売する施設を運営します。また、農産物の生産から出荷までを管理する出荷者協議会による生産出荷体制の強化に向けた取組を支援します。		
事業効果	農産物等の販路を確保することにより、地産地消が拡大し、農業従事者等の生産・出荷意欲の向上が図られ、農業をはじめとした関連産業の活性化が期待できます。		
事業	**18 農産物直売所運営事業**	掲載ページ	75ページ

担当			
西脇市	農林振興課	多可町	商工観光課

事業計画・取組状況								
R３年度	取組実績	【西脇市】 ㈱北はりま旬菜館の指定管理により、農産物直売所の運営を行った。また、出荷者協議会と連携し、農産物の生産拡大や出荷促進を図った。売上推移と経営状況を鑑みて、自主運営が可能であったことから、令和３年度の指定管理料の額を０円に変更した。 【多可町】 町内の生産者に呼びかけ、特産品、農産物の生産拡大や農産物直売所への出荷促進を図った。						
	進捗状況	Ｂ：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた						
	取組の評価	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う行動制限の影響で、巣ごもり需要が増大し、売上高が伸びた。また、出荷者協議会への働きかけにより、農産物の生産拡大、出荷促進が図られた。						
	事業費（千円）	西脇市	1,070	多可町	0	合計	1,070	
		内訳	【西脇市】 集出荷業務委託料1,000千円、備品購入費・消耗品費ほか70千円					
R４年度	取組計画	【西脇市・多可町】 出荷者協議会の役員改選に合わせ、多可町からの役員選出を依頼し、多可町からの出荷促進を図る。 【西脇市】 ㈱北はりま旬菜館の指定管理により、農産物直売所の運営を行う。また、出荷者協議会を対象に農産物生産に係る実技研修会を実施し、農産物の生産拡大や出荷促進を図る。 【多可町】 町内の生産者に呼びかけ、特産品、農産物の生産拡大や農産物直売所への出荷促進を図る。						
	事業費（千円）	西脇市	4,207	多可町	0	合計	4,207	
		内訳	【西脇市】 指定管理料3,000千円、集出荷業務委託料1,000千円、備品購入費・消耗品費ほか207千円					

成果指標（KPI）①									
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
北はりま旬菜館圏域出荷者売上高	目標			125,000	130,000	135,000	140,000	145,000	千円
	実績	117,000	146,476	141,614					
	達成率			113%					
	評価			A					
指標結果の分析・評価	R3年度	コロナ禍ではあったが、巣ごもり需要等の拡大により、一時的なものとは見込まれるが、想定を上回る成果が得られた。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	産業振興	施策	商工業の振興
事業概要	西脇商工会議所や多可町商工会、その他商工団体、金融機関等と連携し、地域の中小企業・小規模事業者の持続的な成長に向けた支援を行います。また、地場産業「播州織」など、共通する産業資源をテーマに連携した支援を行うほか、圏域で一体的な活動を行う商工団体を対象に、自治体の枠組みを超えた支援を行います。		
事業効果	西脇市と多可町は、共通する地域産業を有しており、一体的な経済圏を形成していることに加え、一つの組織として活動する商工関係団体もあり、地域企業の活動支援に一体的に取り組んでいくことで持続的な経済発展につながります。		
事業	**19 地域事業者成長支援事業**	掲載ページ	77ページ

担当			
西脇市	商工観光課	多可町	商工観光課

事業計画・取組状況

R３年度	取組実績	【西脇市・多可町】 ・西脇・多可「播州織」連携会議において、西脇商工会議所・多可商工会と連携し、地域内の播州織事業者のオンライン展示会出展とともに、初の試みとしてオープンファクトリーの開催を支援した。 ・西脇多可料飲組合において、地域食材を活用した共通のメニュー販売促進イベントの開催を支援した。 ・西脇商工会議所・多可町商工会と連携し、12月に地域企業が参加する合同就職説明会を西脇ロイヤルホテルで開催した。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していたイベントの一部は実施できなかったが、業界団体等と連携し、地域に密着した商工業者の支援を適切に行うことができた。					
	事業費（千円）	西脇市	2,520	多可町	110	合計	2,630
		内訳	【西脇市】 地域商業対策事業（料飲・酒販補助分）220千円、飲食サービス事業者応援事業(料飲補助分）2,100千円、商工業振興事業（会議所・播州織案分）200千円 【多可町】 西脇多可播州織連携事業補助金　110千円				
R４年度	取組計画	【西脇市・多可町】 ・西脇・多可「播州織」連携会議において、西脇商工会議所・多可商工会と連携し、地域内の播州織事業者の販路開拓とともに、産地イベント播州織産地博覧会の開催を支援する。 ・西脇多可料飲組合において、地域食材を活用した新メニューの開発と販売促進イベントの開催を支援する。 ・西脇商工会議所・多可商工会と連携し、地域企業が参加する合同就職説明会を西脇市内で開催する。					
	事業費（千円）	西脇市	3,420	多可町	650	合計	4,070
		内訳	【西脇市】 地域商業対策事業（料飲・酒販補助分）220千円、飲食サービス事業者応援事業(料飲補助分）3,000千円、商工業振興事業（会議所・播州織案分）200千円 【多可町】 西脇多可播州織連携事業補助金250千円、播州織ブランドプロジェクト事業補助金400千円				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
連携事業に参加した事業所数	目標			70	70	70	80	80	事業所
	実績	59	99	51					
	達成率			73%					
	評価			C					
指標結果の分析・評価	R3年度	目標を下回ったが、コロナ禍によるイベント中止や、事業者の参加が困難な状況において、一定の成果を出すことができた。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	産業振興	施策	鳥獣被害防止対策の推進
事業概要	農作物への鳥獣被害やそれに伴う耕作放棄などが深刻化する中、捕獲したシカを地域資源として有効活用するため、捕獲有害鳥獣を原材料として活用するシカ肉加工施設の運営を支援します。		
事業効果	従来廃棄物として処分している捕獲鳥獣を資源として有効活用することができ、新たな地域産業の創出や地域経済への貢献が期待できます。		
事業	**20 有害鳥獣有効活用事業**	掲載ページ	79ページ

担当			
西脇市	農村整備課	多可町	産業振興課

事業計画・取組状況								
R３年度	取組実績	有害鳥獣として捕獲したシカをNPO法人が運営するシカの処理加工施設に搬入し、資源として有効活用することで、新たな地域産業の創出や地域経済に貢献した。						
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた						
	取組の評価	【西脇市・多可町】 有害鳥獣駆除により捕獲したシカを資源として有効活用することができた。 【多可町】 NPO法人が運営するシカの処理加工施設に搬入することで、新たな地域産業の創出や地域経済に貢献できた。						
	事業費（千円）	西脇市	268	多可町	1,365	合計	1,633	
		内訳	【西脇市】 シカ処理業務委託料@２千円×134頭 【多可町】 シカ肉処理加工業務委託料@5千円×273頭					
R４年度	取組計画	引き続き、有害鳥獣駆除により捕獲したシカをNPO法人が運営するシカの処理加工施設に搬入し、資源として有効活用することで、新たな地域産業の創出や地域経済に貢献する。						
	事業費（千円）	西脇市	300	多可町	1,655	合計	1,955	
		内訳	【西脇市】 シカ処理業務委託料　@2千円×150頭 【多可町】 シカ肉処理加工業務委託料@5千円×331頭					

成果指標（KPI）①									
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
シカ肉加工施設への搬入頭数	目標			325	325	325	325	325	頭
	実績	325	408	407					
	達成率			125%					
	評価			A					
指標結果の分析・評価	R3年度	シカ肉処理加工業務委託を推進し、目標値を越える量を搬入できている。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	その他	施策	地域防災力の向上
事業概要	災害警戒時の相互情報提供や平時の防災訓練の連携など、圏域全体での防災力の向上につながる体制の整備・充実を図るとともに、消防無線等を利用した圏域の消防・防災情報の伝達体制の検討を進めます。		
事業効果	圏域の実状等を踏まえた消防・防災情報の伝達体制の整備や災害に備えた合同訓練などを共同で実施することで、危機管理体制の維持・向上と災害発生時の被害を軽減することが期待できます。		
事業	**21　消防・防災危機管理体制の整備検討**	掲載ページ	81ページ

担当			
西脇市	防災安全課	多可町	生活安全課

事業計画・取組状況							
R３年度	取組実績	【西脇市・多可町】 災害警戒時の相互情報提供、平時の防災訓練の実施状況について協議を行った。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	市町間での迅速な連絡体制を強化することができ、危機管理体制を向上することができた。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳	—				
R４年度	取組計画	【西脇市・多可町】 災害警戒時の相互情報提供や平時の防災訓練の連携及び消防無線等を利用した圏域の消防・防災情報の伝達体制のあり方について協議を行い、共同での図上訓練を行う。					
	事業費（千円）	西脇市	50	多可町	50	合計	100
		内訳	【西脇市・多可町】 情報共有、図上訓練の事務費				

成果指標（KPI）①									
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
検討会・連携訓練開催回数	目標			2	2	2	2	2	回
	実績	2	2	2					
	達成率			100%					
	評価			A					
指標結果の分析・評価	R3年度	共同で図上訓練を実施し、防災情報の伝達体制の確認ができた。							

事業内容					
分野	生活機能の強化				
政策	その他	施策	地域防災力の向上		
事業概要	災害警戒時に圏域の河川の水位情報がリアルタイムで把握できるよう河川水位監視用カメラの設置と橋脚への水位標高の表示の整備について、調査検討や関係機関との事業調整を共同で行います。				
事業効果	迅速で確実性の高い情報伝達を行うことができ、避難準備情報や避難勧告の発令の判断基準として活用することで、浸水被害の防止や軽減を図ることが期待できます。				
事業	**22 水位監視対策事業**			掲載ページ	82ページ

担当			
西脇市	防災安全課	多可町	生活安全課

事業計画・取組状況							
R３年度	取組実績	【西脇市・多可町】 橋脚への水位標高の表示の整備について両市町で調査検討し、兵庫県に対して要望を行った。その結果、河川監視カメラが８台設置された。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	河川監視カメラが設置されたことにより、迅速で確実性の高い情報伝達を行うことができるようになった。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳	—				
R４年度	取組計画	【西脇市・多可町】 橋脚への水位標高の表示の整備について両市町で調査検討し、兵庫県に対して要望を行う。					
	事業費（千円）	西脇市	50	多可町	50	合計	100
		内訳	【西脇市・多可町】 要望活動費				

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
河川水位監視カメラ等設置箇所数	目標			16	17	17	18	18	箇所（累計）	
	実績	14	14	22						
	達成率			138%						
	評価			A						
指標結果の分析・評価	R3年度	要望活動により、設置箇所数の目標値を達成することができた。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	その他	施策	ごみ処理業務の連携
事業概要	圏域の美しいまちづくりを推進し、快適で衛生的な生活環境を維持するため、ごみ処理施設の運営とごみ収集運搬業務を西脇多可行政事務組合で行います。		
事業効果	ごみ処理業務の運営の効率化により、環境負荷の軽減を図ることができ、快適で衛生的な生活環境を確保することができます。		
事業	**23 ごみ処理事業**	掲載ページ	84ページ

担当	
西脇市・多可町	西脇多可行政事務組合　業務課

事業計画・取組状況							
R３年度	取組実績	【西脇市・多可町】 圏域内のごみの収集、ごみ処理施設の管理運営、再資源化等を行うため、西脇多可行政事務組合に負担金を拠出した。 【組合】 圏域の美しいまちづくりを推進し、快適で衛生的な生活環境を維持するため、ごみ処理施設の運営とごみ収集運搬業務を西脇多可行政事務組合で行った。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	西脇市・多可町圏域内のごみの収集、ごみ処理施設の管理運営、再資源化等を行った。 広域処理により、圏域の美しいまちづくりを推進し、快適で衛生的な生活環境の維持を図った。					
	事業費（千円）	西脇市	550,398	多可町	258,540	合計	808,938
		内訳	【西脇市】 負担金550,398千円 【多可町】 負担金258,540千円 ※参考（事業実績）：　清掃事業979,257千円				
R４年度	取組計画	【西脇市・多可町】 圏域内のごみの収集、ごみ処理施設の管理運営、再資源化等を行うため、西脇多可行政事務組合に負担金を拠出する。 【組合】 圏域の美しいまちづくりを推進し、快適で衛生的な生活環境を維持するため、ごみ処理施設の運営とごみ収集運搬業務を西脇多可行政事務組合で行う。					
	事業費（千円）	西脇市	604,928	多可町	291,920	合計	896,848
		内訳	【西脇市】 負担金604,928千円 【多可町】 負担金291,920千円 ※参考（事業予算）：清掃事業1,140,445千円				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
生活系可燃ごみ年間排出量	目標			8,314	8,174	8,035	7,827	7,615	トン
	実績	8,897	8,741	8,723					
	達成率			95%					
	評価			B					
指標結果の分析・評価	R3年度	指定収集袋制度・容器包装プラの分別による減量効果は維持できているが、コロナ禍における家庭ごみの排出増傾向により、年間排出量はほぼ横ばいとなっている。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	その他	施策	ごみ処理業務の連携
事業概要	廃棄物の適正処理と３Ｒ（リデュース・リユース・リサイクル）による環境負荷の低減を総合的に推進するため、発生するエネルギーの有効利用などに留意しながら、新たなごみ処理施設を整備します。		
事業効果	圏域の廃棄物の適正処理や３Ｒの推進、エネルギーの有効活用などにより環境負荷が少ない地域づくりが期待できます。		
事業	**24 新ごみ処理施設整備事業**	掲載ページ	85ページ

担当	
西脇市・多可町	西脇多可行政事務組合　資源循環課

事業計画・取組状況

Ｒ３年度	取組実績	【西脇市・多可町】 新ごみ処理施設整備に当たって、西脇多可行政事務組合に負担金を拠出した。 【組合】 施設整備に向けた「発注仕様書作成及び事業者選定に関する基準書」等の作成等に係る支援業務、敷地造成に係る実施設計、用地取得（立木補償含む）等に取り組んだ。発注仕様書（原案）等については、施設整備委員会での審議を経て作成した。					
	進捗状況	Ｂ：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	用地取得もほぼ完了し、令和４年度第2四半期後期に敷地造成工事の発注及び施設建設工事の事業者の募集公告を行う目途がついた。					
	事業費（千円）	西脇市	18,360	多可町	10,716	合計	29,076
		内訳	【西脇市】 負担金18,360千円 【多可町】 負担金10,716千円 ※総事業費：89,884千円（新ごみ処理施設整備事業 52,949千円、施設整備委員会運営事業 257千円ほか）				
Ｒ４年度	取組計画	【西脇市・多可町】 新ごみ処理施設整備に当たって、西脇多可行政事務組合に負担金を拠出する。 【組合】 令和４年度第２四半期後期に敷地造成工事の発注及び施設建設工事の事業者の募集公告を行う予定。年内には造成工事の現場着手を、年度末には施設建設工事に係る優先交渉権者の決定を目指す。					
	事業費（千円）	西脇市	61,550	多可町	54,683	合計	116,233
		内訳	【西脇市】 負担金61,550千円 【多可町】 負担金54,683千円 ※総事業費：289,185千円（新ごみ処理施設整備事業 250,136千円、施設整備委員会運営事業 398千円ほか）				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
新ごみ処理施設整備進捗率	目標			17	63	100	―	―	%
	実績	0	2	2					
	達成率			12%					
	評価			D					
指標結果の分析・評価	R3年度	供用開始を２年間延期し、令和８年４月稼働開始を目指すこととしたため、当初の目標値を達成できていない。							

事業内容					
分野	生活機能の強化				
政策	その他	施策	火葬及び葬儀業務の連携		
事業概要	圏域の快適で衛生的な生活環境を維持するため、広域斎場を設置し、火葬・葬儀業務を西脇多可行政事務組合で行う。				
事業効果	火葬・葬儀業務の運営の効率化により、快適で衛生的な生活環境を確保するとともに、簡素で低廉な葬儀を行うことができます。				
事業	**25 広域斎場管理運営事業**			掲載ページ	87ページ

担当	
西脇市・多可町	西脇多可行政事務組合　業務課

事業計画・取組状況							
R３年度	取組実績	【西脇市・多可町】 圏域の火葬・葬儀業務を行う広域斎場を運営するため、西脇多可行政事務組合に負担金を拠出した。 【組合】 定期的な保守点検・整備を実施するとともに、火葬炉の修繕を行った。事務組合により斎場運営の効率化を図り、快適で衛生的な生活環境を確保するとともに、簡素で低廉な葬儀を行った。 葬祭場・和室等式場利用率66.4%					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	西脇市・多可町圏域の火葬・葬儀業務を行った。火葬炉の定期的な保守点検・整備を実施した。広域処理により、斎場運営の効率化を図り、快適で衛生的な生活環境を確保し、簡素で低廉な葬儀を行った。					
	事業費（千円）	西脇市	13,431	多可町	7,840	合計	21,271
		内訳	【西脇市】 負担金13,431千円 【多可町】 負担金7,840千円 ※参考（事業実績）：斎場施設等維持管理運営事業147,237千円、車両維持管理事業1,538千円、斎場施設整備基金積立事業13,563千円				
R４年度	取組計画	【西脇市・多可町】 圏域の火葬・葬儀業務を行う広域斎場を運営するため、西脇多可行政事務組合に負担金を拠出する。 【組合】 定期的な保守点検・整備を実施するとともに、火葬炉の修繕等を行う。事務組合により斎場運営の効率化を図り、快適で衛生的な生活環境を確保するとともに、簡素で低廉な葬儀を行う。					
	事業費（千円）	西脇市	11,340	多可町	6,607	合計	17,947
		内訳	【西脇市】 負担金11,340千円 【多可町】 負担金6,607千円 ※参考（事業予算）：斎場施設等維持管理運営事業196,017千円、車両維持管理事業2,039千円、斎場施設整備基金積立事業14,262千円				

成果指標（KPI）①									
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
葬祭場・和室等式場利用率	目標			73	73	73	73	73	%
	実績	73	68.9	66.4					
	達成率			91%					
	評価			B					
指標結果の分析・評価	R3年度	葬祭場等の利用率は、前年度と比べて減少しているが、概ね目標値を確保している。							

事業内容					
分野	生活機能の強化				
政策	その他	施策	上下水道業務の連携		
事業概要	緊急時の水道相互供給に向けた連絡管の整備など、危機管理体制の強化や事業運営の効率化に向けた連携事業を検討し、圏域における安定的な上下水道事業運営を推進します。				
事業効果	各市町が保有する施設等、経営資源の有効活用及びお客様サービスの向上につながることが期待されます。				
事業	**26 上下水道基盤強化事業**			掲載ページ	89ページ

担当			
西脇市	経営管理課	多可町	上下水道課

事業計画・取組状況							
R３年度	取組実績	災害や渇水時の緊急時対策として、相互配水連絡管の整備について引き続き検討しつつ、より現実的で必要性の高い多可町から西脇市への給水についての協議を、県を交えて２回実施した。					
	進捗状況	C：不十分であるが一部において成果が得られた					
	取組の評価	多可町から西脇市への給水の必要性については意見が一致しているが、当初の給水方式の考え方に相違が生じたため、方針を協議する必要がある。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳	—				
R４年度	取組計画	相互に利点のある方針を協議した上で、災害や渇水時の緊急時（常時含む）対策として、多可町から西脇市への給水についての検討（給水受水エリア・受水量の決定、概算工事費・工期の算出、給水単価・費用分担の設定など）に取り組み、具体的な計画策定を行う。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳	—				

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
連絡管接続箇所数	目標			0	0	0	1	1	箇所（累計）	
	実績	0	0	0						
	達成率			—						
	評価			—						
指標結果の分析・評価	R3年度	多可町から西脇市への給水の必要性については意見が一致しているが、当初の給水方式の考え方に相違が生じたため、方針を協議する必要がある。								

事業内容					
分野	結びつきやネットワークの強化				
政策	地域公共交通	施策	地域公共交通ネットワークの維持及び強化		
事業概要	圏域住民等の移動手段となる路線バスを運行するバス事業者に対し、運行経費を補助するとともに、圏域住民の利便性と運行の効率性に配慮の上、市町を越えて運行するコミュニティバスの運行を行います。また、都市機能が一定程度集積する市街化区域等を中心に公共交通ネットワークを整備し、地域間の移動を促進します。				
事業効果	交通弱者等のバス利用者が自由に安心して外出できる利便性の高い移動手段を確保することができます。				
事業	**27 地域公共交通ネットワーク事業**			掲載ページ	91ページ

担当			
西脇市	企画調整課	多可町	企画秘書課

事業計画・取組状況							
R３年度	取組実績	【西脇市・多可町】 両市町間を接続する路線バスに対して、協調して運行経費の補助を行った。 【西脇市】 再編内容に基づきコミュニティバス、デマンド型交通の運行を行った。バスの均一料金制度を導入し、利用しやすく分かりやすい料金設定とした。 【多可町】 中八千代線の延伸とダイヤ改正によりコミバス、路線バスの利便性向上を図るとともに中黒田線の実証運行を継続して行った。また、加美区、八千代区の老人クラブを対象にバス乗車体験会を開催した。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市・多可町】 両市町間を接続する路線バスに対して、協調して運行経費を補助することで、路線を維持することができた。 【西脇市】 再編後のコミュニティバス、デマンド型交通ともに支障なく運行できており、利用者数についても順調に推移している。 【多可町】 計画どおりコミュニティバスを運行したほか、実証運行2年目の中黒田線は西脇市から多可高校への通学利用者が増え、前年度比2.5倍となった。					
	事業費（千円）	西脇市	85,699	多可町	89,094	合計	174,793
		内訳	【西脇市】 コミバス・路線バス補助金ほか40,879千円、デマンド型交通運行委託料37,256千円、システム使用料・人件費7,564千円 【多可町】 路線バス運行補助ほか26,286千円、コミバス運行補助15,292千円、路線バス差額運賃助成39,787千円、八千代小学校スクールバス運行補助5,804千円、多可高生通学定期補助1,144千円、タクシー利用助成781千円				
R４年度	取組計画	【西脇市・多可町】 昨年度に引き続き、両市町間を接続する路線バスに対して、市町が協調して運行経費の補助を行う。 【西脇市】 コミュニティバス、デマンド型交通の運行を行うとともに、バスの均一料金制度を維持していく。 【多可町】 神姫バス大和線の大和～八千代小学校前間について、神姫グリーンバスによる運行に変更する。また、中黒田線を実証運行から本運行に変更し、移動手段の維持確保を図る。					
	事業費（千円）	西脇市	86,486	多可町	104,189	合計	190,675
		内訳	【西脇市】 コミバス・路線バス補助金38,575千円、デマンド型交通運行委託料40,098千円、システム使用料・人件費7,813千円 【多可町】 路線バス運行補助42,508千円、コミバス運行補助16,000千円、路線バス差額運賃助成42,000千円、多可高生通学定期補助1,881千円、タクシー利用助成1,800千円					

成果指標（KPI）①									
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
公共交通利用者数	目標			174,000	181,000	181,000	181,000	181,000	人
	実績	145,500	146,530	232,055					
	達成率			133%					
	評価			A					
指標結果の分析・評価	R3年度	【西脇市】PR動画の活用や出前講座の開催等により利用促進に努めた結果、目標値を達成することができた。 【多可町】通学利用を中心に利用者数が堅調に推移した。							

事業内容			
分野	結びつきやネットワークの強化		
政策	道路等の交通インフラの整備	施策	幹線道路の整備
事業概要	救急搬送体制の強化や産業振興をはじめ、圏域の活性化に必要不可欠となる圏域内外を結ぶ広域幹線道路である国道427号の整備を促進します。特に西脇道路と豊部バイパスの整備促進に向け、関係機関と事業調整等を行います。		
事業効果	圏域における円滑な道路交通体系が形成され、圏域内外の交流や連携が活発になるとともに、圏域住民の交通の利便性の向上を図ることができます。		
事業	**28 国道427号整備促進事業**	掲載ページ	93ページ

担当			
西脇市	経営管理課	多可町	建設課

事業計画・取組状況								
R３年度	取組実績	国道427号・都市計画道路西脇上戸田線整備促進期成同盟会（会長：多可町長、副会長：西脇市長）による、兵庫県及び国への要望活動を実施した。						
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた						
	取組の評価	兵庫県及び国への要望活動を予定通り実施した。国道427号豊部バイパスの工事は令和４年春の供用開始を目指して整備が進められた（令和４年６月４日供用開始）。						
	事業費（千円）	西脇市	50	多可町	50	合計	100	
		内訳	国道427号・都市計画道路西脇上戸田線整備促進期成同盟会　負担金（西脇市50千円、多可町50千円）					
R４年度	取組計画	国道427号・都市計画道路西脇上戸田線整備促進期成同盟会（会長：多可町長、副会長：西脇市長）による、兵庫県及び国への要望活動を実施する。						
	事業費（千円）	西脇市	50	多可町	50	合計	100	
		内訳	国道427号・都市計画道路西脇上戸田線整備促進期成同盟会　負担金（西脇市50千円、多可町50千円）					

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
要望活動実施回数	目標			1	1	1	1	1	回
	実績	1	1	1					
	達成率			100%					
	評価			A					
指標結果の分析・評価	R3年度	予定どおり要望活動を実施した。							

事業内容			
分野	結びつきやネットワークの強化		
政策	道路等の交通インフラの整備	施策	幹線道路の整備
事業概要	圏域内の児童・生徒の通学時の安全・安心を確保するとともに、圏域内外の交流を促進するため、自転車ネットワークを形成し、快適な自転車利用環境を創出します。		
事業効果	圏域における自転車ネットワークが形成され、圏域内の交通の安全性、利便性が向上するとともに、圏域内外の交流や連携が活発になることが期待されます。		
事業	**29 自転車ネットワーク形成事業**	掲載ページ	94ページ

担当			
西脇市	工務課	多可町	建設課

事業計画・取組状況

R３年度	取組実績	【西脇市・多可町】 圏域内の児童・生徒の通学時の安全・安心の確保及び快適な自転車利用環境の創出に向けた検討を行った。 【西脇市】 自転車ネットワーク計画に基づき、整備路線の選定を行った。（事前調整） 【多可町】 ―					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	令和４年度からの工事実施に向け、予算の確保など事前調整ができた。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳	―				
R４年度	取組計画	【西脇市・多可町】 圏域内の児童・生徒の通学時の安全・安心を確保するとともに、快適な自転車利用環境を創出する。 【西脇市】 自転車ネットワーク計画に基づき、道路整備を推進する。 【多可町】 ―					
	事業費（千円）	西脇市	10,000	多可町	0	合計	10,000
		内訳	【西脇市】 工事請負費（自転車ネットワーク路線の整備）				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
自転車ネットワーク整備延長	目標			2.05	2.78	3.59	3.73	4.22	km（累計）
	実績	2.05	2.05	2.05					
	達成率			100%					
	評価			A					
指標結果の分析・評価	R3年度	令和４年度からの工事実施に向けて、予定どおり事前調整ができた。							

事業内容					
分野	結びつきやネットワークの強化				
政策	地域内外の住民との交流・移住促進	施策	地域資源の活用による交流・移住の促進		
事業概要	北はりま田園博物館総合案内所を拠点に地域づくり活動を行うＮＰＯ法人北はりま田園空間博物館を支援するとともに、滞在型市民農園等を活用した農業体験など、豊かな自然環境や地域資源を生かした都市・農村交流やにぎわいの創出などを図ります。				
事業効果	圏域の多様な地域資源を活用することで、圏域の魅力が高まり、交流人口の拡大と郷土に対する誇りの醸成を図ることができ、圏域の活性化につながることが期待できます。				
事業	**30 観光交流促進事業**			掲載ページ	96ページ

担当			
西脇市	商工観光課／農林振興課	多可町	商工観光課

事業計画・取組状況

Ｒ３年度	取組実績	圏域と都市との交流と、圏域の活性化を図る北はりま田園空間博物館事業を推進するＮＰＯ法人の活動を支援するとともに、総合案内所を活用した飲食事業者等との連携事業を実施した。また、都市住民へ農作業体験の場として滞在型市民農園を広報し、利用者の獲得を目指した。					
	進捗状況	Ａ：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	従来のNPO活動の支援のほか、集客力のある道の駅機能を有効活用した飲食事業者との連携事業を新たに実施することができた。また、滞在型市民農園においては、新規契約者が増加し、契約解除件数が減少した。					
	事業費（千円）	西脇市	14,380	多可町	2,106	合計	16,486
		内訳	【西脇市】 田空指定管理料14,200千円、ロータリーこどもの森管理委託料180千円 【多可町】 田空負担金1,592千円、滞在型市民農園建物災害共済分担金514千円				
Ｒ４年度	取組計画	圏域と都市との交流と、圏域の活性化を図る北はりま田園空間博物館事業を推進するＮＰＯ法人の活動を支援する。また、都市住民へ農作業体験の場として滞在型市民農園を広報する。					
	事業費（千円）	西脇市	14,380	多可町	1,868	合計	16,248
		内訳	【西脇市】 田空指定管理料14,200千円、ロータリーこどもの森管理委託料180千円 【多可町】 田空負担金1,497千円、滞在型市民農園建物災害共済分担金371千円				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
圏域観光入込客数	目標			1,736	1,878	2,020	2,162	2,304	千人
	実績	2,304	1,717	1,699					
	達成率			98%					
	評価			B					
指標結果の分析・評価	R3年度	コロナ禍での外出自粛・行動制限等が続く中、目標値を少し下回った。							

成果指標（KPI）②

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
田園空間博物館利用者数	目標			400	412	424	437	450	千人
	実績	431	408	380					
	達成率			95%					
	評価			B					
指標結果の分析・評価	R3年度	コロナ禍での外出自粛・行動制限等が続く中、目標値を少し下回った。							

事業内容					
分野	結びつきやネットワークの強化				
政策	地域内外の住民との交流・移住促進	施策	地域資源の活用による交流・移住の促進		
事業概要	圏域内で結婚を希望する未婚男女に対し、出会いの機会の創出などの支援を行うとともに、圏域の地域特性を生かした移住・定住の魅力発信や移住者の受入体制の充実を図ります。				
事業効果	男女の出会いの場を創出することや、移住者の交流の場の設置など受入体制の充実に向けた検討、暮らしやすさや子育てに適した環境等の情報発信やＰＲ活動を行うことで、圏域への移住及び圏域内での定住の促進を図り、人口対策の促進や少子化対策に資することが期待できます。				
事業	**31 移住・定住促進事業**			掲載ページ	97ページ

担当			
西脇市	都市住宅課／企画調整課	多可町	定住推進課

事業計画・取組状況

R３年度	取組実績	【西脇市】 空き家バンクの運営等の取組に加え、新たにオンラインでの移住相談窓口を開設した。また、結婚支援として、ひょうご出会いサポートセンターへの登録に係る手数料の助成や、新婚世帯に対する住居費・引越費の補助を新たに実施した。 【多可町】 新たに空き家バンクの運営を委託し、空き家の減少及び空き家増加率を鈍化させ、利活用を促進した。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市】 オンライン移住相談窓口の開設により、遠方からの相談者に随時オンライン対応を行い、利便性を高めることができた。結婚支援については、新たな補助制度を実施したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、出会いのパーティーを開催することができなかった。 【多可町】 令和３年度から、空き家バンク事業を地域商社に委託している。その地域商社には、移住や空き家対策で採用された若い地域おこし協力隊員が配置され、柔軟な発想で運営が行われている。令和3年度の新規取扱物件は50件、成約数は43件と順調である。その他、県随伴事業の古民家再生事業をはじめ、各種住宅助成事業を実施した。					
	事業費（千円）	西脇市	1,070	多可町	15,155	合計	16,225
		内訳	【西脇市】 お試し滞在支援事業補助金15千円（１件）、結婚活動支援事業補助金29千円（７件）、結婚新生活支援事業補助金1,026千円（６件） 【多可町】 移住定住業務委託料3,002千円、空き家バンク運営委託料3,986千円、あったか家族多世代住宅助成4,800千円（16件）、住宅リフォーム助成1,201千円（25件）、住宅ローン利子助成949千円（9件）、豊かな自然環境を利用した幼児教育等組織支援事業600千円、結婚新生活支援事業補助金617千円				
R４年度	取組計画	【西脇市】 これまで曜日を限って実施していたオンライン移住相談を拡充し、随時受付とする。また、空き家バンクの登録物件数の拡充を目指す。結婚支援については、引き続き補助制度を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、出会いのパーティーを開催する。 【多可町】 ・新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着けば、町独自の移住ツアーを年4回開催予定である。 ・大阪などで開催される移住相談会にも積極的に参加し、移住希望者に多可町をPRし、移住者獲得につなげる。					
	事業費（千円）	西脇市	5,800	多可町	23,363	合計	29,163
		内訳	【西脇市】 移住支援事業補助金1,000千円、お試し滞在支援事業補助金100千円、結婚新生活支援事業補助金4,500千円、結婚活動支援事業補助金50千円、結婚活動支援事業委託料150千円 【多可町】 移住定住業務委託料4,000千円、空き家バンク運営委託料2,500千円、あったか家族多世代住宅助成7,500千円、住宅リフォーム助成2,250千円、住宅ローン利子助成2,013千円、豊かな自然環境を利用した幼児教育等組織支援事業1,000千円、結婚新生活支援事業2,100千円、あったか結婚お祝い金助成事業2,000千円					

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
結婚活動支援件数	目標			16	16	16	16	16	件
	実績	16	3	17					
	達成率			106%					
	評価			A					
指標結果の分析・評価	R3年度	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、西脇市では出会いのパーティーの開催を見送ったが、新たな補助制度により支援を行うことで、目標値を達成した。多可町においても、新婚世帯に対する住居費等の補助を行った。							

成果指標（KPI）②

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
市町施策を通じた圏域定着者数	目標			70	72	74	76	78	人
	実績	95	138	148					
	達成率			211%					
	評価			A					
指標結果の分析・評価	R3年度	【西脇市】 新型コロナウイルスの影響で、例年大阪で開催されている移住相談会が事前予約制のWeb相談会に変更になるなど、PRが十分に行えなかった。また、空き家バンクの登録物件数の枯渇により、相談者数が前年度より減少している。 【多可町】 空き家バンク事業の外部委託により成約数が伸びているほか、定住コンシェルジュと連携して相談対応や住宅助成などの支援を行うことにより成果が出ている。また、コロナ禍による地方移住への関心の高まりを受け、移住相談が倍増している。							

事業内容			
分野	結びつきやネットワークの強化		
政策	その他	施策	環境・エネルギー対策の推進
事業概要	圏域が有する豊富な森林資源から産出される間伐材等をエネルギー資源として有効活用する木質バイオマスエネルギーの利用促進と普及拡大を図るため、木質バイオマス供給センターの運営を支援するとともに、チップボイラーの民間事業者等への導入を促進します。		
事業効果	化石燃料の代替エネルギーとして利用することで、二酸化炭素排出量の削減と森林資源の有効活用を図ることができ、地球環境への負荷の少ない資源循環型社会システムの構築につながります。		
事業	**32　木質バイオマスエネルギー利用促進事業**	掲載ページ	99ページ

担当			
西脇市	環境課	多可町	商工観光課／産業振興課

事業計画・取組状況							
R３年度	取組実績	【西脇市・多可町】 北はりま森林組合等と調整し、安定した間伐材の確保を図った。また、チップボイラーの民間普及に向けて情報発信を行った。 【多可町】 チップ燃料の供給地として、原料となる原木を確保し、需用者への販売を北はりま森林組合が行った。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	生産された木質チップは、公共施設や民間施設での利用量が増えている。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳	—				
R４年度	取組計画	【西脇市・多可町】 北はりま森林組合等と調整し、安定した間伐材の確保を図る。また、チップボイラーの民間普及に向けて情報発信を行う。 【多可町】 チップ燃料の供給地として、原料となる原木を確保し、需用者への販売を北はりま森林組合が行う。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳	—				

成果指標（KPI）①									
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
木質バイオマス供給量	目標			3,800	4,100	4,400	4,700	5,000	トン
	実績	3,200	3,725.3	4,211					
	達成率			111%					
	評価			A					
指標結果の分析・評価	R3年度	生産された木質チップは、公共施設や民間施設での利用量が増え、目標値を上回る結果となった。							

事業内容					
分野	結びつきやネットワークの強化				
政策	その他	施策	環境・エネルギー対策の推進		
事業概要	地球環境への負荷が少ない低炭素社会を形成するため、公共施設等への太陽光発電の設置など、自然と調和した再生可能エネルギーの導入を推進します。また、圏域全体での取組を推進するため、再生可能エネルギーへの利用転換や活用を支援する調査研究を行います。				
事業効果	二酸化炭素排出量の削減と圏域のエネルギー自給率の向上を図ることができ、地球環境への負荷の少ない資源循環型社会システムの構築につながることが期待されます。				
事業	**33 再生可能エネルギー導入推進事業**		掲載ページ	100ページ	

担当			
西脇市	環境課	多可町	商工観光課

事業計画・取組状況							
R３年度	取組実績	【西脇市・多可町】 公共施設等への太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入を推進した。 【西脇市】 民間住宅を対象に、再生可能エネルギーを活用する設備の導入を支援した。 【多可町】 民間事業者との連携で、太陽光発電システムの運用を行った。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市】 家庭用創エネ省エネ設備等導入事業奨励金の交付により、再生可能エネルギーの導入を推進できた。 【多可町】 民間事業者との連携により、太陽光発電システムの運用を行った。					
	事業費（千円）	西脇市	4,991	多可町	179	合計	5,170
		内訳	【西脇市】 家庭用創エネ省エネ設備等導入促進事業奨励金4,991千円 【多可町】 電気保安業務委託料179千円				
R４年度	取組計画	【西脇市・多可町】公共施設等への太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入を推進する。 【西脇市】民間住宅を対象に、再生可能エネルギーを活用する設備の導入を支援する。 【多可町】民間事業者との連携で、太陽光発電システムの運用を行う。					
	事業費（千円）	西脇市	5,500	多可町	179	合計	5,679
		内訳	【西脇市】 家庭用創エネ省エネ設備等導入促進事業奨励金5,500千円 【多可町】 電気保安業務委託料179千円				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
公共施設等への太陽光発電等の導入数	目標			24	24	24	24	24	施設数（累計）
	実績	23	23	23					
	達成率			96%					
	評価			B					
指標結果の分析・評価	R3年度	既設の太陽光発電設備等について、適正に運用、管理を行った。							

成果指標（KPI）②

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
家庭への太陽光発電（10kw未満）の導入数	目標			1,575	1,615	1,655	1,695	1,735	件数（累計）
	実績	1,538	1,584	1,659					
	達成率			105%					
	評価			A					
指標結果の分析・評価	R3年度	民間住宅を対象に、再生可能エネルギーを活用する設備の導入を支援することで、数値を伸ばすことができた。							

事業内容					
分野	結びつきやネットワークの強化				
政策	その他	施策	住民相談窓口の相互利用		
事業概要	専門的知識を有する消費生活相談員を配置し、両市町で実施している消費生活・多重債務相談について、消費者被害への迅速で適切な対応を行うため、相談窓口の相互利用を実施し、相談体制の充実を図ります。				
事業効果	相談体制の充実と相談窓口の利便性の向上により、圏域住民の消費生活の安定と向上を図ることができます。				
事業	**34 消費生活・多重債務相談窓口の相互利用の推進**			掲載ページ	102ページ

担当			
西脇市	防災安全課	多可町	生活安全課

事業計画・取組状況							
R３年度	取組実績	【西脇市・多可町】 専門的知識を有する相談員を配置して実施する消費生活・多重債務相談について、相談窓口の相互利用をするため、両市町で相談窓口を開設するとともに、相談事例の情報共有を図った。（相談員出勤日：西脇市３日/週、多可町２日/週）					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	急な相談があった場合にも、西脇市と多可町で相互に相談を受けることができた。また、他市町の相談を受けることで、他の地域の消費者問題の傾向を知るきっかけとなった。					
	事業費（千円）	西脇市	2,859	多可町	2,860	合計	5,719
		内訳	【西脇市】人件費ほか 【多可町】人件費ほか				
R４年度	取組計画	【西脇市・多可町】 専門的知識を有する相談員を配置して実施する消費生活・多重債務相談について、相談窓口の相互利用をするため、両市町で相談窓口を開設するとともに、相談事例の情報共有を図る。（相談員出勤日：西脇市３日/週、多可町２日/週）					
	事業費（千円）	西脇市	2,859	多可町	2,860	合計	5,719
		内訳	【西脇市】人件費ほか 【多可町】人件費ほか				

成果指標（KPI）①									
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
消費生活・多重債務相談窓口の相互利用可能日数	目標			240	240	240	240	240	日
	実績	240	243	242					
	達成率			101%					
	評価			A					
指標結果の分析・評価	R3年度	両市町の連携により目標を達成できた。							

事業内容			
分野	結びつきやネットワークの強化		
政策	その他	施策	住民相談窓口の相互利用
事業概要	女性の就労支援や子育てに係る相談など、中心市で開設する相談窓口の対象を関係自治体住民に拡大し、多様な相談窓口の確保と相談機会の充実を図ります。		
事業効果	圏域で多様な相談窓口が確保され、相談機会の充実が図られることにより、圏域住民の不安の解消や支援につながります。		
事業	**35 住民相談窓口の広域利用の推進**	掲載ページ	103ページ

担当			
西脇市	企画調整課	多可町	こども未来課

事業計画・取組状況

R３年度	取組実績	【西脇市・多可町】 西脇市の相談窓口については、各自治体の住民への情報発信を行うことができた。多可町の事業については、西脇市への情報発信が十分ではなかった。 【西脇市】 西脇市茜が丘複合施設Miraieにおいて、女性の就労起業支援や子育てに関する個別相談を実施した。市民に対し、相談窓口の利用について広報紙やチラシ、ホームページ、ＳＮＳ等で啓発した。 【多可町】 こども未来課と生涯学習課が共同で、女性の起業セミナー及び就労に関する個別相談を実施した。子育てに関する個別相談は、子育てふれあいセンターにて実施した。町民に対し、広報紙やチラシ、ホームページ等でセミナーや相談についての情報発信を行った。					
	進捗状況	C：不十分であるが一部において成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市・多可町】 多可町の事業についても、西脇市内において積極的に情報発信するべきだった。 【西脇市】 新型コロナウイルス感染症の影響で、施設利用について人数制限等を行ったため、子育て相談（臨床心理士）については28件と低迷した。しかし、相談した方の満足度は高く、引き続き実施すべき事業であると考える。なお、女性の就労等相談件数は56件と昨年度より増加した。 【多可町】 子育てに関する個別相談については、66件であった。女性の起業セミナーは定員８名のところ参加６名、就労に関する個別相談は、３名募集のところ２名参加であった。起業セミナーと就労に関する個別相談については、新型コロナウイルス感染症の影響で、日程調整を再度行い、希望者の参加につなげた。					
	事業費（千円）	西脇市	510	多可町	0	合計	510
		内訳	【西脇市】 女性活躍推進事業推進員（社労士）報償費330千円、こどもプラザ事業プレイサポーター（臨床心理士）報償費180千円				
R４年度	取組計画	【西脇市・多可町】 各自治体の住民に対し、相談窓口の利用について広報紙やチラシ、ホームページやSNSにおいても情報発信する。 【西脇市】 西脇市茜が丘複合施設Miraieにおいて、女性の就労起業支援や子育てに関する個別相談を実施する。 【多可町】 こども未来課と生涯学習課が共同で、女性の起業セミナー及び就労に関する個別相談を実施する。子育てに関する個別相談は、子育てふれあいセンターにて実施する。					
	事業費（千円）	西脇市	1,440	多可町	0	合計	1,440
		内訳	【西脇市】 就労起業支援相談業務等(社労士)報償費360千円、こどもプラザ事業プレイサポーター(臨床心理士)報償費1,080千円				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
対象相談窓口利用者数	目標			362	364	366	368	370	人
	実績	400	205	158					
	達成率			44%					
	評価			D					
指標結果の分析・評価	R3年度	【西脇市】新型コロナウイルス感染症の影響で子育て相談（臨床心理士）の利用者数は低迷した。女性の就労等相談件数は昨年度より増加した。 【多可町】子育てに関する相談は、昨年度と同様の相談件数であった。女性の起業セミナー及び就労相談は、募集人数から考えると参加率は高かった。							

事業内容			
分野	圏域マネジメント能力の強化		
政策	人材の育成及び確保	施策	人材の育成及び確保
事業概要	圏域自治体職員の職務遂行能力向上のため、合同研修会を実施します。また、圏域の政策課題への対応のため、専門的知識を有する人材の活用・育成や、両市町が相互補完できる分野での職員の人事交流について検討を行います。		
事業効果	圏域の自立と持続可能な成長を牽引する人材を育成・確保することで、圏域の政策課題について円滑な解決を図ることができます。		
事業	**36 職員人材育成・確保事業**	掲載ページ	105ページ

担当			
西脇市	総務課	多可町	総務課

事業計画・取組状況							
R３年度	取組実績	【西脇市・多可町】 両市町職員が参加する合同研修会（スキルアップ研修）を実施した。また、人事交流等の研究、先進地事例調査などを行った。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（８割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	11月11日に文章力向上研修（参加者24名）、11月24日に育成能力向上研修（参加者15名）、11月30日に説明能力向上研修（参加者29名）を実施した。職員それぞれの能力向上に加え、市町職員間の意見交換の場になっている。また、両市町の研修担当者で、今後の取組について検討した。					
	事業費（千円）	西脇市	347	多可町	82	合計	429
		内訳	研修委託料(429千円)を参加人数(西脇市55人、多可町13人)で案分				
R４年度	取組計画	【西脇市・多可町】両市町職員が参加する合同研修会（スキルアップ研修）を実施する。また、人事交流等の研究、先進地事例調査などを行う。					
	事業費（千円）	西脇市	352	多可町	240	合計	592
		内訳	研修委託料を参加人数で案分する。				

成果指標（KPI）①

指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
合同研修参加者数	目標			90	90	90	90	90	人
	実績	75	68	68					
	達成率			76%					
	評価			C					
指標結果の分析・評価	R3年度	研修内容により、受講者数に偏りがあるため、職員のニーズに応えることができる内容の研修を計画していく必要がある。							